

(様式第13号)

大阪市地域公共人材 派遣報告シート

■事務局記入 ■人材記入

派遣通知（団体）No.	派遣人材名 上：登録no 中：派遣通知no 下：名前	15-006	15-010	18-002
		木村 和弘	林田 全弘	池田 弘志
派遣先（名称）	一般財団法人 安住荘			
派遣計画書の内容	初回ヒアリング	2024年7月1日	3回次	チラシ講座
	1回次 広報の講座		4回次	ラフスケッチの相談 Canva講座
	2回次 ワークシートの相談		5回次	チラシ講座の相談
派遣回次	4回次	派遣日時	2024年9月2日18:00～20:10	
参加者	地域 2名	人材 事務局 3名 1名	区役所 まちセン 1名 名名	その他 1名 (オブザーバー)
活動内容	<ul style="list-style-type: none">●派遣依頼内容 安住荘スタッフで、Canvaをはじめ広報のスキルを身に着け、広報に弱いグループに対しても支援できるように。●支援内容・プログラム 前回からの宿題（キャッチコピー5つと5人の感想）を発表し、フィードバック。チラシを作るにあたってあらゆる面から深掘りを行った。その後人材が講師となり「Canva講座」を実施。実際にCanvaを触って体験する時間を持った。次回への「宿題」も出されて終えた。●成果 Aさんが欠席だったが、宿題は託されており発表された。広報の講座からここまで積み上げてきて作った「キャッチコピー」を深掘りすることで「なぜ広報するのか？」を遠くから考える機会となった。Canvaは大変便利なツールとして認識いただき、それを使って（使わなくてもよい）実際にチラシを作成してくる宿題となった。いよいよ結果（成果物）として形にしてみる。●今後の予定 派遣人材が当日までに、参加者が経験した内容をしっかり振り返り、一步でも目標に近づくフィードバックができるよう準備する。			
所感	登録no. 名前	所感		
		「チラシを作る」「広報する」といっても今回の取り上げた「課題」が「安住荘」ならでは、大変「ニッチ」な内容であるため個々の「深掘り」に時間がかかった。リーダーとしてその深掘りする時間と、本来の目的を果たす工程をうまく配分できなかった。最後まで参加者が「疎外感」を持たないよう多くの知見を得れた体験となるよう準備したい。		
		時間が無いながらも、宿題に取り組んでいただけた。次回は最終回ということで、前向きな雰囲気で終わるようしたい。		
	参加者のイベントの真のターゲット絞りこみがもう少し必要だが、今回の派遣では時間が無いと思われる所以、次回はチラシづくり（モノづくり）の楽しみを味わってもらい、今後の活動に活かしてほしいと思っている。組織としての目標が達成できるかどうかという視点でのフィードバックは厳しいものになると思うが、雰囲気としては楽しい時間となるよう頑張りたい。			